

みのわだより

令和7年 7月発行 420号

verde

「verde」とは、ポルトガル語で「緑の」という意味です。



ベルジ箕輪

ベルジ株式会社 有料老人ホーム ベルジ箕輪
発行責任者 専務取締役 大久保健司
支配人 高木 正幸

〒370-3104 群馬県高崎市箕郷町上芝 839-4
Tel 027-371-6610 / Fax 027-371-6613
E-mail minowa@e-verde.co.jp
URL <http://www.e-verde.co.jp>

ホームページにてブログも更新しております。そちらも是非ご覧ください

5月の出来事

松島道場から可愛い空手家たちが訪ねてくださり、見事な技を披露してくださいました。「やーーーーー」元気な気合の掛け声が聞こえると、皆さま拍手で歓迎。演武が始まり、ちびっこ空手家の大人顔負けの気合と技に息を呑む皆さま。テレビでは見たことのある板を拳で割ったり、瓦を割ったり、ダイナミックな空手から舞うような形の披露も。とにかく凄い！



空手演武

松島道場は国際空手道連盟の極真空手。師範は松島良一様テレビ・映画・雑誌等で多数演武披露されており、心身の鍛練を通じて真の国際交流を目指されておられます。過去にはホリデーインまえばしの大きなステージで空手の演武されたことも。迫力の演武に皆さま圧倒されました

かき氷

梅雨入りが発表されたにもかかわらず、真夏日が続いた6月。茹だるような暑さを払拭するべく、かき氷の提供を始めました。「かき氷始めました」のチラシを掲示すると皆さま「どこで食べられるの？」と事務所にお問い合わせが殺到。暑い夏とかき氷の相性は抜群ですもの。夏季限定のお楽しみがデキマシタ。



夏野菜



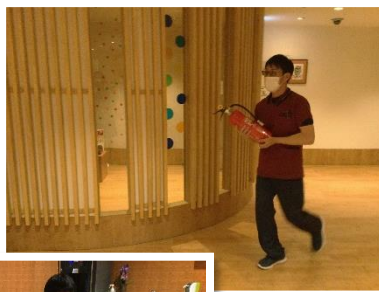
畑の野菜が早くも収穫できるほど成長。毎日の水やりを欠かさなかった皆さまの愛情をたっぷり受けた野菜が大きく実りました。「収穫しましょうか」「そうだね食べごろだね」心なしか寂しいような表情を一瞬みせた皆さま。「記念撮影しましょ！」立派に育った野菜を手にパチリ。「どんどん生りますよ」夏はこれからですから。「そだね」太陽の笑顔でした。

先月から毎週1回、書道教室を始めました。美文字を目指したのではなく、書くことを楽しむ教室なので、特別な講師はいませんが、筆で書く文字は気持ちが違って同じ文字を何枚も書き、上手に書きたいと意欲的。お教室のお時間10分前には事務所にお見えになって「今日はお習字ある？」と確認されます。余暇を充実できたなら幸いです。

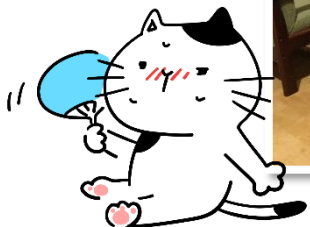
書道教室



避難研修



昼間想定時、出火前における職員の配置状況。本館：職員5人 事務所：2人 体制での訓練。実践形式によって大きな警報が館内に鳴り響き、訓練とは分かっていながらも気持ちが急いてしまいます。消防署への通報も頭に入れてあるはずなのに不安からくるもどかしさ。入居者様の安全確保のための誘導などにも、誰が指示を出してくれ、誰の指示に従ったらいいいのか現場は混沌としました。実際の火災が起こったなら考えると、そんな有事に冷静に対応出来るのか。と自身に不安になります。訓練は何度でもすることが大事ですね。



みのわ情報

後期高齢者医療被保険者証及び介護保険負担割合証について

令和7年7月31日までで
健康保険証は使えなくなります。
マイナ保険証 または
資格確認書 を使用して
ください。

令和7年7月31日まで
令和7年8月1日から

令和7年8月1日から
使える

資格確認書を後期高齢者医療制度
加入者全員へ送付します。

マイナ保険証での受診が難しい方も「資格確認書」で
これまでどおり医療を受けられますので、ご安心ください。

お問い合わせ
お住まいの市町村後期高齢者医療担当窓口または群馬県後期高齢者医療広域連合 ☎027-256-7171

後期高齢者医療被保険者証・介護保険負担割合証の有効期限が7月31日までとなっております。新しい保険証がお手元に届きましたら、お手数ですが事務所へ原本の御提出をお願い致します。また、マイナ保険証に切り替わりますが当分の間、マイナ保険証を保有していない（マイナンバーカードの健康保険証利用登録をしていない）方全てに、従来の健康保険証の有効期限内に「資格確認書」が無償で申請によらず交付されます。マイナンバーカードの預かりは致しませんので資格確認書をご送付お願いいたします。

編集後記

シトシト。梅雨といえば雨は静かに降り続き、穏やかに大地を潤す季節でした。今の梅雨は突然大雨が大地を叩きつけ、まるで怒りを浴びているような気分させられます。雨が静まり隠されていた太陽が僅かに現れると、空には大きな虹。「ああそうか、ご褒美か」人生の教訓を得た気持ちになりました。事務所内のカレンダーには今月の指針が書かれており、「苦難も悲嘆も味わう心になれば 人生を豊かに過ごすことが出来る」この言葉が正にしっかりとくる出来事でした。人は同じ時、同じことが起こっても、それを苦難と思う人もいれば、貴重な経験と思う人もいる。殆どの人に概ね同じような出来事が起こるが、心の在りようで変わりようのない事実の姿が変わるのだ。歳の取り方で人相が変わるという話を聞いた。怒ってばかりの人は眉間に皺が刻まれているし、笑ってばかりの人には目尻に皺が刻まれている。「40歳を過ぎたら自分の顔に責任を持て」というリンカーンの言葉も奥深い。ならば、最期はどんな顔になりたいのか描きながら過ごしていくのもいいじゃないか。人生を豊かにしなければならない訳じゃないし、楽しみが多いことが幸せでもないだろうけれど、己の顔を好きでいられる生き方が良いなと思う。年齢が分かってしまう皺は全く要りませんが。

編集担当：須藤